

しゃかいふくしきょうぎかい

社会福祉協議会やコミュニティソーシャルワーカー (CSW) についておたずねします

問22 市内に社会福祉協議会が設置されていることを知っていますか。(〇は1つ)

1. 名前を知っており、役割についても知っている
2. 名前を知っているが、役割については知らない
3. 設置されていることを知らない

問23 社会福祉協議会の取組として知っているものをあげてください。(〇はいくつでも)

1. 地区福祉委員会が行う小地域ネットワーク活動への支援
(子育てサロンやふれあい昼食会などの住民交流活動を支援)
2. ボランティアセンターの運営
(相談、講座、広報・啓発の実施、ボランティアグループへの支援等、ボランティア活動を支援する事業)
3. 善意銀行事業
(市民からの寄附による善意の金品を預かり、市内の福祉施設や団体等支援を必要とする人に「善意の橋渡し」を行う)
4. 心配ごと相談
5. 生活福祉資金貸付事業
(低所得者や高齢者、障がい者などの世帯を対象に、必要な資金を低利で貸し付ける生活福祉資金について、相談を行ったり申し込み窓口となっている)
6. 災害時支援事業 (自然災害発生時の「災害ボランティアセンター」の設置運営など)
7. 社協だより、子ども社協だよりの発行
8. 施設連絡会
(民間の高齢・保育・障がいなどの多様な施設が、施設間交流を行ったり、地区福祉委員会などと連携して地域貢献活動を行っている)
9. 権利擁護事業※9 (日常生活自立支援事業※など)
10. 赤い羽根共同募金 (吹田地区募金会の事務局として、募金運動を推進している)
11. 地域ふくし協力金 (地区福祉委員会や社会福祉協議会の活動に充てられる)
12. その他 (具体的に: _____)
13. 特にない、わからない

※日常生活自立支援事業は、判断能力が十分でない認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者の方を対象に、福祉サービスの利用援助、日常の金銭管理サービス、書類などの預かりサービスを行う事業です。

問24 あなたは、社会福祉協議会にCSWが配置されていることを知っていますか。
(○は1つ)

1. 配置されていることを知っており、役割についても知っている
2. 配置されていることは知っているが、役割までは知らない
3. 配置されていることを知らない

問25 CSWに今後どのようなことを期待されますか。(○はいくつでも)

1. 身近な地域で相談する機会を設けてほしい
2. 地域福祉活動へのアドバイスがほしい
3. 専門的な相談にも対応してほしい
4. CSWの周知に力を入れてほしい(配置場所、活動内容等)
5. CSWの人数を増やしてほしい
6. 市や専門機関・施設と連携してほしい
7. その他(具体的に: _____)
8. 特になし、わからない

成年後見制度についておたずねします

問26 あなたは、「成年後見制度」※10を知っていますか。(○は1つ)

1. ことばは聞いたことがあり、制度のことも知っている
2. ことばは聞いたことがあるが、制度のことは知らない
3. ことばも制度も知らない

問27 あなたは支援が必要になったときには、成年後見制度を利用したいと思いますか。
(○は1つ)

1. 将来に備えて後見人を選んでおきたい (⇒問27-1へ)
2. 必要になれば利用したい (⇒問27-1へ)
3. 利用したいとは思わない (⇒問27-2へ)
4. その他(具体的に: _____) (⇒問28へ)
5. わからない (⇒問28へ)

問27-1 問27で「1. 将来に備えて後見人を選んでおきたい」「2. 必要になれば利用したい」と回答した方にお聞きします。援助者にはだれになってもらいたいですか。(〇はいくつでも)

1. 家族・親族
2. 専門職（弁護士・司法書士など）
3. 法律または福祉に関する法人
4. 市民後見人（研修を受けた市民など）
5. その他（具体的に： _____）
6. わからない

問27-2 問27で「3. 利用したいとは思わない」と回答した方にお聞きします。その理由として、あなたの考えに近いものは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 制度を使わなくとも家族がいる
2. 他人（家族・親族を含む）に財産などを任せることが心配
3. 家族・親族などの信頼関係が崩れるおそれがある
4. 援助者（後見人など）になってほしい人が見当たらない
5. 費用がどのくらいかかるか心配
6. 手続きが大変そう
7. 家庭裁判所に申し立てることに抵抗がある
8. どういうときに利用していいかわからない
9. その他（具体的に： _____）

問28 成年後見制度が利用しやすいものとなるためには、どのようなことが重要であると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 制度内容を知る機会が充実すること（パンフレットや説明会など）
2. 制度利用の方法などに関して、身近な相談窓口があること
3. 制度を利用するための手続きなどの複雑さが解消されること
4. 成年後見制度を利用するための費用に対する助成制度などが充実すること
5. 財産の横領などの不正が行われないような仕組みがあること
6. 後見人と医療・介護の関係者などが協力して、本人を支援する体制が整備されること
7. 後見活動で法的な問題が生じた場合、弁護士などによる助言が得られる体制が整備されること
8. 弁護士などの専門職だけでなく、市民後見人による支援体制が充実すること
9. 本人の能力や生活状況を踏まえ、適切な後見人が選任されること
10. その他（具体的に： _____）
11. わからない